

モニタリング(秋シーズン)

(1) 結果概要

ア 大山の紅葉(ライトアップ含む)

評価した人 11名(産業能率大学10名、当センター職員1名)
評価実施日 11/15、19、21(4名)、22(3名)、24(2名)
大山の紅葉を見るのは、初めて(10名) 2回目(1名)

*評価項目中、ゴシック下線付で表記されている回答は複数回答である。

評価項目1 バス、ケーブルカーなどの交通アクセスについて

少し混雑した(6名) 順調であった(3名) 混雑した(2名)

【よかった点】

- ・時期、時間帯の関係か、ほとんど混んでいなかった。大山寺から帰る時はケーブルカーが多少混んだが、それ以外はむしろ空いていた。(11/15)
- ・特に問題なく行けた。バスの本数等あまり混雑なく不満を感じることはなかった。(11/21)
- ・終了間際であったが、土曜日だったがスムーズに行けた。(11/22)
- ・ケーブルカーの係りの人の数が多く、対応がよかった。(11/24)
- ・平日の夕方は、土日に比べると余裕があった。紅葉を見に来る人は多いが、ライトアップまでいる人の方が少ない。

【気になった点】

- ・臨時便もあったが、大変混雑していた。仕方ないと思った。(11/19)
- ・平日にも関わらず混雑していた。(11/21)
- ・混み合って大変だった。(11/22)
- ・大山ケーブル行きのバスは混雑する。本数が多く、臨時便も出ているが、それでも、登山客や観光客が不満を感じる点の一つになっている。
- ・駐車場が少ない。1台出て1台入るという状態であった。

【提案など】

- ・増便は難しいので、交通整理、ケーブルカーの座席の増席をする。
- ・車で行った。試しに並んでみたが、第2駐車場には15分で入れた。駐車場の料金も一律でわかりやすい。坂であるため第1駐車場には止めたくはない。第2駐車場になるべく多くの駐車台数を確保することが望ましい。

評価項目2 大山阿夫利神社下社の紅葉のライトアップの印象について

【よかった点】

- ・下社の横の紅葉は色づいており、ライトアップされてとても綺麗だった。
- ・一ヶ所だけでなく、歩きながら紅葉を楽しめた。
- ・昼間、紅葉を見るのとは、また違う記憶に残る景色であった。
- ・紅葉のライトアップは初めてであったが、夜でもここまで楽しむことができるのかと感動した。
- ・紅葉のライトアップをやっている所は珍しい。
- ・カップル、夫婦、団体からは良いコメントが多かった。
- ・普段であれば気に留めない参道で立ち止まる人もいて、大山の新しい魅力発見が出来そうであ

る。

【気になった点】

- ・下社は、以外と紅葉が少なくて驚いた。大山寺より下社がメインと勘違いしていた。

評価項目3 大山阿夫利神社下社からみる秋の夜景の印象について

【よかった点】

- ・標高が高いので広大な風景を見渡すことができた。
- ・町がほのかに灯っており、風景に感動した。
- ・夏の絵とうろうの時と変わらず、綺麗だった。
- ・とてもよい景色で、上まで登ってよかったと思えた。
- ・紅葉と別々に楽しめるので、大山寺と別の魅力がある。
- ・お月見とは異なる秋の独特な魅力を感じさせる夜景である。
- ・カップルで来たらよい思い出になる。
- ・個人的には、この夜景に一番、感動した。

【気になった点】

- ・暗く、遠くまで見えない。
- ・近隣の人も、大山の夜景が綺麗であることを知らない。

評価項目4 大山寺の紅葉のライトアップの印象について

【よかった点】

- ・びっくりするくらい綺麗であった。左右とも赤一色で、ライトによって綺麗に見えた。
- ・夜の紅葉を見たのは、初めてだったので、雰囲気があり幻想的だった。
- ・思わず、「おお。」と言ってしまうほど圧巻だった。
- ・ついつい、立ち止まっては写真を撮り、いつまでも眺めていたいという気持ちになった。
- ・歴史的文化財からかけ離れたロマンティックな雰囲気を演出し人々を魅了していた。
- ・紅葉と寺で和を感じたため、外国人受けがとても良さそうであった。

【気になった点】

- ・いきなり、立ち止まって写真を撮る人がいて、危ない思いをした。左側通行を守らない人も多く、歩きづらかった。

評価項目5 「大山の紅葉」(ライトアップ含む)全体の印象について

【よかった点】

- ・綺麗だった。秋の風物詩として大変満足だった。
- ・山の紅葉を近くで見ると、初めてだったので、こんなに綺麗なのかと驚かされた。
- ・ここまで美しいとは正直、思っていなかった。伊勢原の誇れるものだと思えた。
- ・普段と異なる非日常感を演出することができ、時間をかけても見に来る価値はある。
- ・川、風、木々の音、歴史のある旅館、建物、神社すべてが紅葉とマッチしている。
- ・秋以外の季節とは、また違った良さがあった。
- ・いつまでもいたいと思うほど居心地がよかった。
- ・夜道は暗いところもあるが、ライトアップで鮮やかに彩られた道はとても雰囲気が良かった。

【気になった点】

- ・紅葉を見に来たにも関わらず、ケーブルカーから見る景色はバスから見る景色と変わらない。
- ・渋滞で、いい思い出より、バスや駐車場を待った思い出が強く残ってしまった人がいるのではないか。

評価項目6 「大山の紅葉」(ライトアップ含む)で魅力的と思ったものについて

- ・紅葉と夜景が一緒に楽しめるのは、非常に魅力的である。大山寺で夜景と紅葉を一枚の写真に収めるのもよいし、下社で別々に楽しむのもよい。
- ・下社から見る夜景と紅葉はとても魅力的であった。来年は彼女を連れて来たい。
- ・こま参道で「たい焼き」や「たこ焼き」を、下社で「もみじ鍋」を販売しているのがよかった。
- ・大山寺に向かう道中、明かりが灯っていたので、安心して歩けた。
- ・落ち葉が良い味を出していた。頭上だけでなく、足元も大変良かった。
- ・ケーブルカーから見る紅葉がとてもよかった。
- ・夜に紅葉が見られる貴重なスポットであるので、ライトアップはとてもよい取組である。
- ・車、電車でも、また、首都圏からでも夜ライトアップされた紅葉を見てから日帰りできる。

【提案など】

- ・ライトアップで綺麗な参道を、改めて地元の人に見てもらいたい。

評価項目7 「大山の紅葉」(ライトアップ含む)の改善点について

- ・下社から見える夜景の絶景スポットがわかるよう情報提供してほしい。
- ・ライトの明暗に強弱を加えると、さらにアクセントが出る。
- ・一部で緑や青のLEDを使用すれば、カップルや夫婦から賛同を得られる。
- ・屋台の数を増やすなど、食べ歩きや長居しやすい環境にした方がよい。
- ・誰が見てもわかりやすいような看板やチラシがあれば、混雑やトラブルが減る。
- ・案内係を増やしてほしい。
- ・通常の大山ケーブル駅の窓口が閉まっていることの気づかず、引き返して、ケーブルカーの切符を臨時窓口で買った。ケーブルカーの臨時窓口に表示をしてほしい。
- ・ケーブルカーから見たライトアップがあれば面白い。
- ・ケーブルカーの本数を増やしてほしい。
- ・大山寺まで歩いて行った。寺などはライトアップしていても道中は真っ暗で凹凸があり、灯りがあった方がよい。足元を見ないで歩く人が多かったので、注意対策も必要である。
- ・やはり、アクセス。バス増便、臨時駐車場などは必要。ライトアップ期間だけでもピストン発車のバスなどを出す。
- ・大山に紅葉を見に行くが次がない。大山で寄り道する所もなく帰ってしまう。

評価項目8 「大山の紅葉」(ライトアップ含む)を外国人観光客にアピールするために必要なことについて

- ・英語版のチラシや看板を増やしていく。
- ・外国語によるトイレ表示や宣伝は必要である。紅葉のライトアップは景色を対象としていて、言葉の壁は生じにくい。

- ・寺・紅葉など和のテイストを SNS などで売り込む。
- ・IT と脚を使ってプロモーションしていく。無料の WiFi、大山のことがよくわかるスマートフォンのサイトの構築、ツイッター、フェイスブックの活用など。
- ・外国人観光客は紅葉に興味があるので、宣伝方法を変えたり、大使館にお願いする。
- ・外国人は食に敏感なので、紅葉だけでなく、秋の味覚として大山ならではの食べ物を販売する。
- ・電車の中刷り広告も、外国人向けと国内向けに分ける。
- ・バスに乗車したが、乗降時、落語が流れたのが面白かったが、日本語のみの放送だった。外国人観光客の方には理解できなかつたと思うので、英語のアナウンスなどする。
- ・まずは、日本人観光客を取り入れる。外国人観光客には認知してもらうことから始める。
- ・あえて、外国の要素を入れず、より「日本」を強調させる。
- ・外国人の方は、紅葉を季節の終わり目と捉え、悲しいものとしているかもしれない。海外と日本での紅葉に対する思いのギャップを埋めることが必要である。

評価項目9「大山の紅葉」（ライトアップ含む）へのリピーターを増やすために必要なことについて

- ・交通アクセスの整理が一番重要課題である。ある日曜日、バス2時間待ち、ケーブル1時間待ちとなり、観光のための時間を大幅に待ち時間に取られた。どんなに綺麗で、楽しい観光も「楽しかった思い出」が半減されてしまう。Twitter で「大山 バス」と検索したら「バス待ちがひどい」、「観光誘致ばかりで実際来た客のことなんて全然考えられていない」、「もう二度と来ない」などのツイートが見られた。観光客は増加していると思うが、交通整備はされておらず、バス増便をしても足りず、何時間待ちかわからない駐車場渋滞ができ、観光客以外にも住民の方も困ったのではないか。リピーターを増やすためには、まずは、行きやすい環境を整える必要がある。
- ・ロマンスカーの伊勢原駅停車、駐車場からのバスの運行など、観光客の対する工夫が見られ、結果、大山の紅葉は充分、大山の見物になっている。アクセス面については、今の対応を続ける。
- ・「大山の紅葉 = ! 」といったような数ある紅葉の中で、最大の見せ場が必要である。
- ・ライトの色など、毎年、違うアレンジを加える。
- ・昼の紅葉の景色も、もう少しアピールしてもよい。
- ・景色の良さがあるので、それを印象付けられれば、また、来てもらえる。
- ・夜景で感動「体験」をしてもらう。次に「ゲスト（観光客）の参加」がキーワード。加えて「情報」を手に入りやすくする。
- ・毎年、様々なイベントを企画する。無料で持ち帰れる物を変える。
- ・パワースポットなど、カップルや夫婦が喜ぶものをもっと宣伝する。ターゲットとして年配者が若者のカップルかどちらかに力を入れる。個人的にはデートスポットのような環境としてがよい。
- ・期間限定アイテムや記念となるスタンプを毎年つくる。紅葉以外にも毎年異なるライトアップ展示品をつくり、展示をする。年月日を記載した思い出になる記念品をつくる。

自由意見

- ・バスや駐車場の問題が深刻である。駅とケーブル直行のバスだけでなく、少し歩いてよい人は、大学行きを勧めるとよい。
- ・課題を解決し、いかに「来てよかった！」と思っただけを持ち帰ってもらうかである。
- ・大山ケーブル駅辺りに、クルリンの着ぐるみがいても面白い。
- ・豆腐のソフトクリームを食べたが、さっぱりしておいしかったが、大山には紅葉と共に魅力あるものをもっとアピールしていく。
- ・日本の風物詩として文句がなかった。CM や広告にお金をかけてもよい。
- ・家族向けプロジェクションマッピングやデートスポットに困んだ縁起づくりに取り組む。
- ・お団子がおいしかった。もっと秋メニューを増やしてもよい。
- ・今年の観光客の数を見ると、観光誘致は成功したのではないかと思う。
- ・こま参道などで何らかのイベントを行う。(例)・大山の写真を道中、掲出する。
- ・トークショー、演奏会などの同時開催
- ・大山こま 景品争奪！トーナメント大会
- ・大山とうふ プチB級グルメグランプリ

特記事項(特に気づいた点)

- ・紅葉のライトアップでは、屋台が出ていた。「たい焼き」も「たこ焼き」も大山の雰囲気壊さず、非常に好印象である。
- ・年配者が多いとイメージしていたが、若者も多く、全体の雰囲気は和やかでよかった。
- ・写真で見るとより、圧倒的に実物が綺麗だった。
- ・閉店しているお店があったので、もっと活気があってもよい。
- ・紅葉を見に来たのに、ケーブルカー乗車時は、夜景は見えるが紅葉が楽しめない。
- ・盛り上げるのではなく、回転率を上げないと、混雑し過ぎて、ただでさえ山道のためお客様は疲れてしまう。

